

# チャオ・ベトナム

J A P A V I E T N A M 会 報

NO.49

発行者：ジャパ・ベトナム事務局 発行日：2015年4月15日

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| ◆新しい地域からの申請書.....1                   | ◆寄付者一覧、七夕チャリティコンサート<br>お知らせ、ボランティア募集.....5 |
| ◆ダイナミック・ホーチミン <大学教育の大きな<br>変化>.....3 | ◆会計報告.....6                                |
| ◆その心.....4                           |  |

## 新しい地域からの申請書

小野 浩美



2 箇所の新しい地域から届いている申請書について、ご紹介します。

一つは、ハノイの隣にあるバクニン省から届いた、HIV/AIDS 感染者が作るグループ「もっと明るい日を望む」の活動に対する申請書です。

2005年8月19日に、HIV/AIDS 感染者6人が「もっと明るい日を望む」を設立しました。現在バクニン市に4つのグループがあり、150人のメンバーがいます。彼らには300人のHIVに感染した子供がいます。ほ

とんどの男性は亡くなって、女性と子供が多く残されています。メンバーのためにお正月やこどもの日、クリスマスなどにイベントを催す活動、病院との連携、予防教育、抗HIV薬の服薬支持、そして感染者へ治療の知識普及や法律問題の教育、さらに職業訓練、仕事の斡旋、少額融資活動、など様々な活動を目的にしています。2011年から飲み物ショップや縫製技術訓練にも取り組んでいます。活動を継続し、新たに始める飲物ショップと食料雑貨店の開業資金、緊急ファンド、融資フ

アンド、年間イベントのための資金など、年約 8,300 ドルの費用を必要としています。

このプロジェクトを紹介してくれたのは、1995 年にビンフック省の少数民族子供寮のプロジェクトを紹介してくれたタンさんです。少数民族子供寮への支援は、今も続いています。ジャパ・ベトナムは手紙だけで判断せず、プロジェクト関係者に直接会い話し合う中で、支援するかどうかを決めています。今年のベトナム視察ツアーの中で彼らに会いに行き、話を聞いてきます。

もう一つは、ビンフック省ブダンで活動する「友のグループ」の申請書です。一昨年申請書を受け取り、去年ブダンを訪れて責任者のガーさんや地元の協力者と会い、話し合いを行いました。ガーさんはホーチミン市に住



む若い女性ですが、ここを訪れた時少数民族の人々の困難な暮らしを目の当たりにして、何かしなければと考え、6 年前に「友のグループ」の活動を始めました。ホーチミン市で

知人や協力者に呼びかけて古着や食料、飲料水などを集め、2~3 か月に 1 度現地を訪れて少数民族の人々に配っています。また、他の支援グループを仲介する中で水の浄化施設が作られ、少数民族の人々にきれいな水を無料で配れるようになりました。地元カトリック教会の神父さんや信者さん達が、活動に協力をしています。困難な状況を目の当たりにして、心を痛める人はたくさんいると思いますが、自分ができることから始めようと踏み出したガーさんの行動力を、たたえたいと思います。

ジャパ・ベトナムに出された申請は、さらに奥地で暮らす少数民族の集落に、ヤギを 1 家族に 2 頭配り子ヤギが生まれたら親ヤギを他の家族に回すプロジェクトです。10 家族から始める計画で、総額 5,000 ドルが必要です。ジャパ・ベトナムでは、2015 年にこのプロジェクトに支援する方向で検討しています。

この 2 つの申請書を見て感じる事は、困難な状況に置かれている人々が、自らを助けお互い助け合っていく力を引出す内容を持っているという事です。これは人が生きていく上で最も大事なことと思います。皆様から頂いたご寄付が、そうしたパワーの発揮に役立つことは、とても喜ばしいことだと考えます。

## 「ジャパ・ベトナム 2015 年活動計画」

1~3 月	申請書の翻訳 2015 年支援先の検討	5 月	2015 年支援先決定
3 月	ベトナム人カトリック共同体へ募金のお願い	7 月	チャリティ・コンサート開催
4 月	チャオ・ベトナム発行 2015 年ベトナム視察ツアー日程確定、参加者募集	8~9 月	ベトナム視察ツアー
		10 月	チャオ・ベトナム発行
		11 月	視察報告会開催

# ダイナミック・ホーチミン <大学教育の大きな変化>

平井 裕

昨年の9月のツアーの機会にこちらの公立の工業大学の先生とお会いしたことがきっかけで、この3月から私立の技術大学

(HUTECH)の中に新しい大学を作るプロジェクトに参加することになり、ホーチミン市で新生活をスタートしました。毎日が新しいことの連続で、大きな波のような出会いの不思議さ感じています。ホテル住まいから大学内のアパートに引っ越し、数十年ぶりの長期滞在で、なつかしい昔を思い出しました。

この大学は法人ではなく、個人の篤志家によって20年前に設立されて、今では私立の技術大学の中では、良い人材を輩出する大学として評判が良いと聞いています。国立の大学には、やはり優秀な学生が集まりますが、授業料が国立の1.5倍であるこの大学にも、将来良い仕事に就くことを目指して、沢山に入学してきます。面白いことに、ハノイとホーチミンで学生の勉学への意識がことなり、ハノイではまじめでコツコツ勉強するタイプが多いと聞いていますが、確かにこの大学の学生は明るく大らかでのんびりの感があります。学生の数も多いこともあり、3つのキャンパスが手狭でいつも人の洪水の中にあるようで、廊下で食事、勉強する風景を毎日見かけます。大学入学は容易ではありませんが、同時に大学間の競争も厳しく、各大学が良い生徒の獲得と、卒業生を良い就職先に送り出すことを目指す活動を行っています。海外の大学との連携もその一つですが、また各大学が特徴を出して学生集めをしています。先日ある高校に10以上の私立大学が集まって開いた説明・相談会に参加しました。今年卒業の生徒の積極的な姿勢が目立ち、特に日本語に対する関心は大きく、一方日本語学科・コ

ースを持つ大学も多く、中小の日本語学校も沢山出来て、日本の企業への就職や日本への留学の道を開いています。今年、日本への留学志願者の人数が中国を凌いで、8000人を超えたのは驚きです。日本語を一つの得意技にして、ステップアップを図ろうと考えている若い人たちが増えています。今、ホーチミン、ハノイ、ダナンの3つの市には日本企業が沢山進出し、1400社位になり、課題はあるものの積極的に雇用拡大を計っています。30~35歳以下が人口の60%に達するベトナムは、若い人の成長なくして将来はなく、そのために大切な教育にけるエネルギーとダイナミズムを感じる毎日です。



— 高校で行われた大学の説明会 —

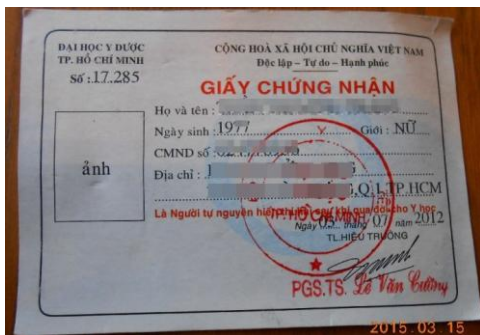


— 大学の卒業式風景 —

先日、昔の教え子に会う機会がありました。その日はうすすら寒い日だったのですが、彼女はあたたかも、ここはベトナムだ、とでもいうようにアイス・コーヒーを、私は温かいココアを飲みながらいろいろなことを話しました。

そんな中で、何がきっかけだったか忘れましたが、彼女がおもむろに私に見せてくれたものがありました。それは、日本で「献体登録証」と呼ばれているもののようでした。

「先生、私は献体したいので申し込みました。献体先はホーチミン市の医薬大学です。私が死んだら、このカードを見た人は、私をホーチミン市医薬大学へ運びます。」ということでしたが、「死んだときにカードを見た人は・・・へ運びます」という言葉に、ふと、あの交通事故の多いホーチミン市の雑踏を思い浮かべてしまいました。病院あるいは家で死を迎えることが多い日本の社会に住んでいる私の最初の心の反応でした。



「日本では献体の申込みをする為には家族全員の承諾が必要なのよ。あなたのお宅では大丈夫だったの？」と聞いたところ、最近、大病を患った母親にはまだ話していないが、父親には相談し了解を得ている、ということでした。

まだ若い彼女が、どんな心で「献体」を考え、決心し、実際に申し込んだのだろうと、とても気になり知りたくなりましたが、その時には聞く勇気がなく、ついに聞きそびれてしまいました。

というのも、日本では、一時献体数が不足して困っていた時期があったようなのに、4年前の東日本大震災以降、「自分の死に関心を抱くようになった」という人が増え、献体を選択する人も一部で現われ始めたというのです。彼女の心の中にはどんな思いがあってこの決心を実行したのでしょうか。

いつもにこやかで、「人のためになること」を進んで行う彼女は会社の責任ある地位を任せられながら、ホーチミン市から約200キロのところにある養護施設にいる二人の子供を自分の養子として育てています。ほとんどの週末を子供たちと過ごし、テトなどには自分の家に連れ帰って一緒に楽しんでいるようです。

暖かい家庭で、愛されて育ってきた彼女は、弱い人、小さい人に対してとても敏感です。その受けた家庭環境のおかげで、彼女と触れた人はみんな幸せを味わわせてもらっているのではないのでしょうか。

ここまで書いてきて、やっと、彼女が「献体」を思いつき、決心したその心を垣間見た気がしました。

# \* ご協力ありがとうございます \*

2014年10月17日～2015年4月5日までの会費・寄付納入者のお名前です(敬称略)

青沼 西子	品川区	斎藤 彰	川崎市	匿名	新宿区
芦田 敦子	西宮市	櫻井 實・優子	つくば市	Ha Thi Liet Oanh	大和市
阿部 節子	春日井市	佐竹 道子	茅野市	橋本 直樹	横浜市
飯田 幸子	足立区	渋谷 節子	足立区	原 章子	世田谷区
イエス会社会司牧センター	千代田区	嶋田 弘志	町田市	樋口 禮治	豊川市
匿名	江別市	島村 晶子	三鷹市	藤井 訓子	大竹市
逸見 裕一	さいたま市	匿名	板橋区	藤沢ベトナム人カトリック共同体	藤沢市
出原 久美子	所沢市	白坂 博美	武蔵野市	松永 弘	八王子市
江口 一郎	川崎市	陣在 拓也	横浜市	マリアの御心会茂原共同体	茂原市
大泉 廣	江戸川区	末吉 偕子	清瀬市	宮坂 淑子	さいたま市
岡山 卓生	東村山市	須田 俊子	練馬区	三好 従子	市川市
幼きイエス会ニコラ・パレ管区本部	千代田区	武市 英雄	相模原市	森 絵理咲	杉並区
川越ベトナム人カトリック共同体	川越市	武永 賢	新宿区	森山 昌樹	豊島区
祇園カトリック教会	広島市	多勢 三枝子	練馬区	柳下 修	横浜市
岸 秀雄	鎌倉市	玉木 邦江	練馬区	大和ベトナム人カトリック共同体	大和市
北島 理江子	新宿区	辻村 寛行	清瀬市	四谷ベトナム人カトリック共同体	千代田区
グエン・ティ・マイ	横浜市	戸村 信子	長崎市	匿名	足立区
小池 美恵子	国分寺市	中嶋 俊之	江戸川区	渡辺 典子	羽曳野市
斎藤 彰	川崎市	中島 淑子	町田市		
		中野 孝文	川崎市		
		根岸 寿	神戸市		

## \*お知らせ\*

### ●チャリティ・コンサート ベトナム音楽のひと時

出演：セシリア合唱団（ベトナム人混声合唱団、演奏）サイゴン・ロータス（民族楽器演奏）

2015年7月5日（日）13:30～15:30（開場 13:00）

岐部ホール 404号 東京都千代田区麹町6-5-1 JR中央線、営団地下鉄 四ツ谷駅より徒歩3分

【チケット代】1,500円（ケーキ・飲物付）

\*変更のある時はHP又はFBに掲載いたします。場所はJR四ツ谷駅そば、P.6の連絡先をご参照ください。

### ●ベトナム・ツアー 参加者募集 8月20日(木)～9月2日(水)の14日間です。ベトナム各地の支援先を訪問します。詳細はHP およびFBに掲載します。部分参加もできますので皆様のご参加をお待ちします。お問合せはP.6の連絡先までメール又はお電話にて。

### ●ボランティア募集 チラシ、会報などデザイン・編集、印刷・発送のお手伝い、簡単なベトナム語翻訳など。お問合せはP.6のジャパ・ベトナム連絡先（Email、電話）まで。

### ●藤沢、大和、川越、四谷の教会でジャパ・ベトナムの活動をお話しし、集まった在日ベトナム人の方々から沢山のご寄附をいただきました。有難うございます。

### ●3月28日(土)月例ミーティングに、ツアーで通訳をしていただいたアンさんやフエさんとリンさんが参加。外では桜が、中では話に花が咲きました。



# ◆◆◆会計報告◆◆◆

(2014年10月17日～2015年4月5日)

募金会計		活動費会計	
収入		収入	
一般会費	957,269	活動費寄付	51,000
賛助会員	0	バザー売上	0
助成金	0	ツアー残金	0
普通利息	0	雑収入	0
雑収入	0	小計	51,000
		支出	
小計	957,269	活動費	26,976
支出		印刷費	0
支援金	0	文具資料費	0
送金手数料	0	通信費	20,406
小計	0	小計	47,382
前期繰越金	192,524	前期繰越金	20,804
当期収支	957,269	当期収支	3,618
次期繰越金	1,149,793	次期繰越金	24,422

## <2015年の申請書が届いています>

- ① エイズプログラム(H.C.M市)：スラム住民自立、エイズ患者ケア
- ② ニョムティエンボン(H.C.M市)：エイズ患者診療
- ③ スマイルグループ(H.C.M市)：エイズの子供ケア
- ④ 少数民族子供寮(ピンフック省)：カシューナッツ接木
- ⑤ 友のグループ(ピンフック省)：ヤギバンク
- ⑥ ダイハイ教区(ソックチャン賞)：道路補修
- ⑦ 聖ヨセフ小学校(ハウザン県)：学校運営
- ⑧ カイドイバン教区(カマウ省)：家建築
- ⑨ もっと明るい日を望むグループ(バクニン省)：エイズ患者ケア

総額約360万円になります。現在支援先プロジェクトを検討中です。

## JAPA VIETNAM をご支援ください

JAPA VIETNAM にご支援いただくには、以下の三つの方法があります。

- 一般会費 年間1口(2000円)以上
- 賛助会費 金額・時期ともご自由に
- 活動費寄付 活動費の支援(金額自由)

どれになさるかはご自由にお選びください。ご都合に応じてご送金いただければ幸いです。会費をお振込みいただいた方には、振込の半券で領収書とさせていただきます。領収書が必要な方は、振込用紙の通信欄の「領収書必要」の口にチェックを入れてください。事務費削減にご協力いただくと幸いです。

【ご送金は郵便振替で】  
00100-8-118761  
JAPA VIETNAM

【銀行をご利用の場合は】  
三菱東京UFJ銀行 四谷三丁目支店  
東京女子医大出張所  
普通預金 3544236  
JAPA VIETNAM 代表 安藤勇

## 会報名『チャオ・ベトナム』について

「チャオ」(chào)とはベトナム語で「こんにちは」という意味です。『チャオ・ベトナム』というタイトルには、ベトナムの人たちと友情のネットワークを築いていきたいという、私たちの願いがこめられています。

## ベトナムの未来にあなたの力を

# ジャパ・ベトナム (日本ベトナム民間支援グループ)

## JAPA VIETNAM

(Japanese group of Private Assistance to VIETNAM)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-5-1  
岐部ホール4階  
イエズス会社会司牧センター内

電話 03-5215-1844  
FAX 03-5215-1845

e-mail: [chao@japa-vietnam.org](mailto:chao@japa-vietnam.org)  
<http://www.japa-vietnam.org/>